

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

再生・新生・共生

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

ロータリーを楽しもう！
夢と誇りをもって



2022-2023年度

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2560地区ガバナー 高橋 秀樹
高田ロータリー会長 高橋 正彦
幹事 飯塚 宏佳

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL(025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：
伴 長門・齋藤俊幸・藤林陽三・出澤英則

第 2 回例会 7 月 8 日(金)

No.2

『 歓迎 7 月 15 日 高橋秀樹ガバナー公式訪問 』

会長挨拶 ●高橋正彦



皆さんこんにちは。先ほど 11 時半頃 安倍元首相が奈良県で銃撃され心肺停止状態だというニュース速報が流れました、日本もいよいよ政治家への、銃撃事件がおこる時代が来てしまったのかと思います。早く銃のない世の中がくればと思います、安倍元首相の回復をお祈りいたします。

さて、昨日 7 月 7 日といえば、短冊に願いごとを書いたり、笹竹に飾りつけをしたりする七夕行事が有名ですが、本来は星を祭る日だそうです。近年では全国各地で星空観賞会が開催されるなど、星空に対する意識が高まる日ともいえます。

七夕にかかせない天の川を見てみたい、という人も多いでしょうが残念ながら現在では、夜間照明やネオンなど、人工の灯りが空を照らし、夜の明るさが増しているため、山や高原、海辺など、人工の灯りがなく、街灯りの影響を受けない場所でしか天の川は見られません。そのため日本人の 70%が光害のせいで天の川を見ることができないと言われていています。21 時頃の天の川は、7 月は東の低空、8 月は南の空から北の空にかけて帯状をした白い雲のように見えるそうです、肉眼では白い雲のように見えても、双眼鏡等で見た場合は星がいっぱい川面のように見えるそうです。天の川を見るには、7 月より 8 月の方が見やすいようです。どうしても、満天の星空で見たい方は、オーストラリアの砂漠で見るといいそうです。

また日本・中国など東アジア地域の神話では夜空の光里の帯を川と見っていますが、ギリシャ神話では、これを乳と見えています、それが継承され英語圏でもミルキーウェイと言うようになったそうです。

それは、ゼウスとアルクメネの子ヘラクレスを不死身にするために、女神ヘラの母乳を飲ませるため、ヘラに眠り薬を飲ませ眠っている間にヘラクレスに飲ませた、この時、ヘラが目覚め驚いてヘラクレスを払いのけた際にヘラの母乳が流れ出した、これが天のミルクの環になったと言われていています。これから、是非一度、天の川を見てください。

本日は、先週に引き続きクラブ協議会です、各委員長さんよろしくお祈りいたします。

ニコニコBOX

出席率 98.00%

出席報告

高橋孫左衛門君：長らく欠席していましたが、本日より復帰いたします。よろしくお願いいたします。
原野聖子君：この7月1日、「妙高市初となる法律事務所」を妙高市役所近くの「さん来夢あらい」に開所いたしました。昨日、開所ご報告のために妙高市長を表敬訪問させていただいたところ、新潟日報様、上越タイムス様、JCV様、上越よみうり様に取材に来ていただく事ができました。取材0だったらどうしようかと心配しておりましたが、高田ロータリークラブの皆様のお力添えによるものと感謝申し上げます。本日18:30からのJCV「ニュースLink」で放送いただけるので、ご覧いただけますと幸いです。今後も、地域の皆様のお役に立てるように努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

セレモニー



入会式：山本 陽君
東北電力ネットワーク(株)
上越電力センター所長

委員会報告

親睦委員会：7月の会員お誕生日各お祝い



お誕生日



ご結婚記念日

幹事報告

配布物：週報No.1、
回覧物：ガバナー月信7月号
報告：7月のロータリーレート 136円/\$、
7/15 ガバナー公式訪問について

クラブ協議会 ② 2022-2023 年度 会長方針・委員会事業計画発表

クラブ協議会配付資料をご参照ください。



プログラム委員会
小池委員長



親睦委員会
加藤委員長



広報・会報・雑誌委員会
伴委員長



職業奉仕委員会
吉原委員長



社会奉仕委員会
細野委員長



国際奉仕委員会
高坂委員長



ロータリー財団委員会
霜村委員長



米山奨学委員会
鈴木委員長



青少年奉仕委員会
東野委員長

プログラム委員会 委員長 小池猛紀
副委員長 林 泰成
委員 齋藤尚明・保坂成仁・佐藤勝則

※運営方針

例会出席そして卓話をお聞きすることは、まさに「集いて人に学ぶ」というロータリーの伝統を実践することにつながります。

視野を高め、新たな知識が得られ、そして何よりも楽しく聞ける卓話を目指します

※事業計画

1. 会員卓話を増やします。
2. 衛星クラブ会員の卓話の機会を増やします
3. ロータリー月間のテーマに合わせた卓話について各委員会に協力要請します。
4. 地域、業界等多方面の方々からの卓話を心掛けます。
5. 必要に応じリモート卓話を取り入れます。

親睦委員会 委員長 加藤公一
副委員長 嶺村 武
委員 橋本眞孝・山本 智・久保克文・釜田英一

※運営方針

高田クラブテーマ「ロータリーを楽しもう！夢と誇りをもって」とはまさに会員同士の相互理解と団結力を深めることであり、会員にとっての心地よさを育む機会の場づくりとして親睦の会を実施する。

※事業計画

1. 年間6回の親睦例会実施。

①納涼(家族)会	8月 5日 (金)	百年料亭 宇喜世
②お月見例会	10月 7日 (金)	長養館
③クリスマス(家族)例会	12月16日 (金)	アートホテル上越
④オークション	2月17日 (金)	百年料亭 宇喜世
⑤観桜例会	4月 7日 (金)	アートホテル上越
⑥最終例会	6月30日 (金)	デュオ・セレッソ
2. 会員および配偶者の誕生日、結婚記念日にお祝い品を贈呈。
(基本毎月第2週例会を予定・振替/特定休会日は第3週に移行)
3. 例会時における SAA サポート

①新年初例会（市長を迎えての夜例会）	1月13日 (金)	デュオ・セレッソ
②3クラブ合同例会	未定	

広報・会報・雑誌委員会 委員長 伴 長門
副委員長 齋藤俊幸
委員 藤林陽三・出澤英則

※運営方針

広報・会報・雑誌委員会本来の趣旨をしっかりと認識し、記録とクラブ内情報発信が滞ることなく、地域社会に向けて活動情報の提供による当クラブの理解と認知度向上を図る。

※事業計画

1. 「会報」
欠席者への便宜となり、親しみやすい写真画像を多く取り入れた紙面づくりに取り組む。
2. 「広報」
 - ・ホームページを活用した、新鮮で変化のある活動報告を掲示しアクセス増に努め、地域社会へ更なる理解と認知を図る。
 - ・各社報道機関の協力を頂き、活動の情報発信を行い地域の共感を得る広報を図る。
 - ・Facebookへクラブ活動の掲示をもってクラブ内外への広報を図る。
 - ・マイロータリーへの登録推進を図る。
3. 「雑誌」
機関紙「ロータリーの友」への投稿を募り、掲載による関心と精読を図る。

職業奉仕委員会 委員長 吉原耕一
副委員長 神田和明
委員 横山修一・佐藤教彦

※運営方針

1. 職業奉仕はロータリー活動の大切な根幹のひとつです。
2. 自身の職業を通して、社会に奉仕し、自身の職業上の手腕やスキルを社会に役立てると

いう意識を今一度確認して、取り組みます。

※事業計画

1. 会長方針に基づき、会員企業への移動例会を複数回行い、さらに移動例会を通して、会員相互の親睦が深まるように企画いたします。
2. 医師会館での会員の健康診断を実施いたします。
3. 職業奉仕の理解を深めるような例会を実施いたします。

社会奉仕委員会

委員長 細野 仁
副委員長 大島 誠
委員 佐藤憲二・佐藤信明・吉田進一

※運営方針

地域社会とのつながりを意識しながら、各クラブ（ロータリー衛星クラブ、ローターアクトクラブ含む）と連携・協調し、人々の生活の質を高め楽しく参加できる奉仕活動を実践する。

※事業計画

1. 地区補助金の有効活用
プロジェクト名「デザイン段ボール箱が運ぶ真心」（番号：DG2335959-18）生活困窮者支援事業として「フードバンク上越」に寄付する活動を行う。
2. 社会奉仕活動
平和な社会を目指し、地域社会（環境・人々）を豊かにする奉仕活動を計画する
3. 活動資金の充実
各委員会と協力して継続事業である「オークション」を計画する
4. クラブPR
上記に際し、地域社会にクラブ奉仕活動をアピールし、クラブ組織そしてロータリアンの行動・姿勢の更なる認知向上を行う。

国際奉仕委員会

委員長 高坂光一
副委員長 原野聖子
委員 石田誠夫・澤井祥典

※運営方針

・世の中の動きに注目し、国際理解を深めよう。

※事業計画

- ・地区補助金を活用して「スリランカアイバンク協会への支援事業」（6/6 現在申請中）
- ・財団委員会と協力して「POLIO 根絶の意義」について周知
- ・メルボルン国際大会への参加促進

ロータリー財団委員会

委員長 霜村 浩
副委員長 箕輪賢一
委員 西脇 薫・稲田善昭・山本 陽

※運営方針

ロータリーの意義や活動内容をより知っていただき、積極的に参加していただく様に活動致します。

※事業計画

1. 財団への寄付目標（150\$/会員・ポリオプラス30\$/会員）を達成するため会員の皆様に寄付をお願いする
2. 例会時の寄付ボックスを回してのお願いは、毎月1回は行う
3. 地区補助金を利用しての社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の事業のサポートを行う
4. ミリオンダラーミールを数回実施する

米山奨学委員会

委員長 鈴木陽一
副委員会 チャールズ・C・ストラットン
委員 山田吉徳・高橋俊宣

※運営方針

米山記念奨学会は、勉学・研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給して支援する民間の奨学団体です。

2021学年度の採用は910名で、国内では民間最大規模の国際奨学事業です。会員の皆様に米山奨学事業について理解を深めていただき、寄付の増進をはかります。

※事業計画

1. 寄付目標額1人20,000円の達成をめざす。
2. 前年同様に会員が気軽に寄付できるような環境を整える。
3. 米山奨学事業の意義や目的について、会員への浸透をはかる。

青少年奉仕委員会

委員長 東野秀和

副委員長 川上裕一

委員 笹川 裕・山崎公一

※運営方針

会長テーマ「ロータリーを楽しもう！夢と誇りをもって」の基に若い世代が将来リーダーシップを発揮し、地域の中心となって活躍できる人材となれるよう育成に協力致します。又、彼らの奉仕活動や経験が個々の成長につながるよう積極的に関わりを持ちサポートしていきます。

※事業計画

- 1 青少年奉仕月間(5月)において例会の卓話を担当します。
- 2 アクトの例会、事業へ積極的に参加し理解を深め互いに成長を目指します。
- 3 アクトの活動状況を高田クラブのホームページに掲載し、共有を図ります。
- 4 ロータリアンとの奉仕活動・懇親等交流の場を設け互いの理解を深めます。
- 5 IA・RYLAの事業や研修に参加すると同時にその呼びかけを行います。
- 6 アクトの地区内・他地区との交流を支援します。
- 7 アクト会員の増強を支援します。